

西播磨圏域自立支援協議会 活動記録（報告）

開催日時	令和4年10月14日（金）10:00～11:30
開催場所	第1会議室
出席者	障害児計画相談に関する連絡会6名、療育に関する情報交換会12名、市町部会2名
内容	令和4年度 龍野・太子地区合同部会 （障害児計画相談に関する連絡会・療育に関する情報交換会・市町部会）
議事	<p>【開会】 堤職員より挨拶</p> <p>【事業所紹介】 座席図に沿って自己紹介</p> <p>【障害児に関する計画相談について】 濱本 Co より、相談支援部会での収集データをもとに西播磨圏域障害児計画相談の状況を説明。</p> <p><たつの市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度計画相談件数については以下のとおり（市外利用者含む） 障害児：1,223件（うち新規114件） 障害者：2,098件（うち新規48件） ・R3年度の障害児の相談件数は、前年より150件増加。児の計画件数は年々増えているが、児の相談員は者の相談員よりも少ない ・セルフプランは行っておらず、市内の児には必ず相談員が付いている <p><太子町></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度計画相談件数については以下のとおり（町外利用者含む） 障害児：715件（うち新規70件） 障害者：906件（うち新規35件） ・R3年度の障害児の相談件数は、前年より180件増加。たつの市同様、児の計画件数は年々増えているが、児の相談員は者の相談員よりも少ない ・セルフプランは行っておらず、町内の児には必ず相談員が付いている <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨圏域の計画相談についてはパンク状態。都会ではほぼセルフプランで行っている市町もある中、西播磨圏域ではセルフを出さないようになんとか協力をいただいている ・事業所も増えてはいるものの、利用者もどんどん増えている。療育の需要が年々増えていく中、体制をどう整備していくかが今後の課題 ・日々いろいろな支援を行う中での相談や困り事、療育・学校・相談員の連携についてもこの場で共有いただきたい <p>【4グループに分かれて情報交換（2部制）】※一部グループのみ抜粋 <市町・事業所・学校との連携（トライアングル会議）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議が導入される以前、相談員やサービス提供事業所は学校とのつながりが希薄であり、利用者の学校での状況については保護者を通じなければ分からなかった

- ・直接学校の先生と意見交換のできる会議は良い機会。利用者の性格や生活状態について、保護者から聞く情報と学校の先生から聞く情報とは異なっている場合が多い。先生の客観的な視点や意見は参考になっている
- ・授業やサービス提供等の都合で時間が限られており、現状報告のみで終わってしまう場合も多い。多職種が集まる貴重な機会であり、利用者についてももう少し深入りした話ができるよう時間を取っていきたい

<ペアレントトレーニングの実施状況について>

- ・保護者相談を LINE 受付。電話よりも文字が残るので相談件数が多い。希望があれば、サービス提供前後に対面でも実施し、保護者からの相談には随時応えられる体制を整備
- ・保護者の相談に対して経験談を交えた助言を行う。利用者の将来の姿を明確化し共有
- ・サービス提供時間前後に保護者面談を実施。担当者を含めたコミュニケーションを心がける
- ・就学を控える保護者に記録ファイルを作成してもらっている。入学先の学校に活用できるほか、保護者の振り返りにも役立っている
- ・たつの市では就学時や医療受診時に役立つ「サポートファイル」を導入済み。ライフステージごとに記録してファイルに綴る形式であり、行動の特徴などをスムーズに伝えることが可能。市 HP よりダウンロードできるほか、本庁・支所でも配布中

【その他】

上郡ランチの移転について報告あり（別紙チラシのとおり）

【閉会】

堤職員より挨拶